

外国人及び日本人児童生徒の多文化共生教育の充実
— 外国人児童生徒等への学習支援ガイドブック
「ぐんまのかけはし」の作成を通して —

研究構想図

長期研修員 西口 仁 渋澤 敏雄

国・県の課題
教師の願い



- ・日本語指導が必要な児童生徒の受入れが増えている。
- ・外国人集住地域の実践を散在地域で活用できていない。
- ・日常の言葉だけでなく、学習するための言葉として日本語を使い、在籍学級での授業に積極的に参加できる力を育てたい。

外国人児童生徒等への学習支援ガイドブック
「ぐんまのかけはし」を活用した指導

日本語指導編

<個別> 教科につながる
日本語指導



日本語指導と教科指導を関連させる

在籍学級での指導編

<一斉> 外国人児童生徒等にも
分かりやすい教科指導



1 教科指導への架け橋

初期指導から教科指導への流れ

2 日本語中期指導プログラム

教科で使う日本語を学べる授業案

活動場面の動画付き！

3 日本語と教科の統合学習

日本語を学び・使いながら教科を学ぶ

4 授業・教材づくり

授業のユニバーサルデザイン化

5 ICTの活用

個に応じた効率的な学習指導

6 学級づくり

学習の土台となる学級での多文化共生

「日本語を学ぶ」姿から
「日本語で学ぶ」姿へ変容



将来へのビジョン



- ・義務教育段階の学力を付けた姿
- ・群馬県で地域の一員として活躍している姿

教科につながる日本語指導って
何をすればよい？

日本語指導編

1 教科指導への流れを掲載

ぐんぐんガイド



ぐんまのかけはし

受入れから初期指導

中期指導から教科指導

2 日本語中期指導プログラムを掲載

特徴

- ① 楽しい活動を行いながら国語・算数生活科等、教科で使う日本語を学べる
- ② 15分ごとで短時間でも指導できる
- ③ 全ての授業案に動画が付いている



あわせていくら

200円+300円は

動画をすぐ視聴
できる二次元コ
ード付き



3 日本語と教科の統合学習の例を掲載

理解支援

日本語を学び使いながら教科を学ぶ JSL

表現支援

位ごとに？
分類って？

日本語で学ぶ力

JSL：文部科学省が開発した第二言語としての日本語指導プログラム

教科につながる日本語は、使える
日本語になり、定着しやすい！

外国人児童生徒等にも分かりやすい
教科指導ってどうすればよい？

在籍学級での指導編

4 授業・教材づくりのポイントを掲載

やさしい日本語・実物操作・視覚化など
で、授業をユニバーサルデザイン化！

20%減少した飲料の体積は何 dL？



やさしい日本語

20% へった 飲み物の 体積は 何 dL？



実物操作・体験



視覚化・焦点化

5 ICTの活用例を掲載

デジタル機能の活用で、読み書き支援！



音声検索機能



文字起こし機能



文字読み上げ機能

車はガソリン30Lで360kmの
ことができる一方、新型
同量の燃料で450kmの距離を
す。単位量あたり
しょう。

言葉の意味を調べたり読み方
書き方を確認できたりする！

6 学級づくりの実践例を掲載

日常生活で

エンカウンターで
特別活動や教科で

日本人児童生徒も含めて
学級での多文化共生！



外国人児童生徒等への支援は、
全ての児童生徒への支援になる！

成果

ガイドブック「ぐんまのかけはし」を作成し、日本語指導と在籍学級での指導の実践例を示すことができた。

課題

教師の更なる意識向上に向け、ガイドブックの周知・活用・改善を進めていく必要がある。

提言

日本語指導（個別）では**教科につながる日本語**を明確にして指導すること、在籍学級（一斉）では**授業のユニバーサルデザイン化**を意識して指導することで、全ての児童生徒が分かりやすく安心して共に学ぶことができるようにしましょう。